

全国助産師教育協議会 将来ビジョン 2030

公益社団法人全国助産師教育協議会（以下、全助協）は、すべての女性、母子と家族が助産師のケアを享受できるように必要な専門職人材として、有能な助産師の育成を推進することを目指しています。2020年度に策定した「望ましい助産師教育のコア・カリキュラム」の実装に向け取り組んで参りました。全助協は、これまで質および量ともに十全な助産師育成を目指して、「助産師教育における将来ビジョン 2015」および「助産師教育における将来ビジョン 2021」を策定しました。この度、「助産師教育における将来ビジョン 2021」の評価に基づき、新たに「助産師教育における将来ビジョン 2030」を策定しました。

なお、全助協の関連団体である日本看護協会および日本助産師会のビジョンを踏まえ、全助協のビジョンにおいても到達年を名称として採用することにしました。また、助産師教育は今後、カリキュラム改訂をはじめ大きな変革が見込まれることから、本ビジョンは5年間の到達目標を示すものとし、その目標年度を2030年と決めました。

ビジョン1：助産師学生の実習前／卒業前の能力を担保し、助産学 CBT・OSCE の公的化を推進する

- 1) 調査結果：全助協が開催する助産学共用試験 CBT トライアルを受験した養成校は49.5%、助産学共用試験 OSCE を受験した養成校は21.6%、助産学 OSCE 評価者研修を受講した教員がいる養成校は54.1%であった。助産学 CBT/OSCE が実施できる基盤が整いつつある。
- 2) 助産学 CBT/OSCE の推進：日本助産評価機構との連携・協働のもと、今後も全国各地で実施し、受験へのアクセスが進むよう、組織的に推進していく。
- 3) 受験機会に対する地域格差や養成校による差をなくすため、受験する学生や養成校への支援を行っていく。
- 4) 公的化に向けて、他団体と協働しながら関連する各省庁へ働きかける。

ビジョン2：助産師教員の教育力の向上／保証、および臨地実習指導者の指導力の向上を図る

- 1) 調査結果：助産師に対する社会からの多様なニーズに応えるため、助産師教員の教育能力の向上が求められている。助産師教員キャリアラダーレベルⅢ（エキスパート助産師教員）について、申請内容をよく理解していると答えていた養成校は41.4%、聞いたことがある養成校は50.5%と、エキスパート助産師教員の制度は知られている。
- 2) 教育力の保証として、エキスパート助産師教員を認定する教員ラダーを推進し、教育力の向上を図る。
- 3) 教育の質を向上させるための教育環境の整備を推進する。教員の人員確保のための調査を実施する。

ビジョン3：時代に合わせた、助産師教育のコア・カリキュラムを推進する

- 1) 調査結果：助産師教育に「望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラム 2020年版」が反映されていると答えたのは68.5%であった。
- 2) 会員校（または助産基礎教育を実施している教育機関）を対象に『望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラム 2020年版』の全国的な実施状況と教育の課題を多面的に把握し、改訂に必要な論点と優先課題を抽出することを目的に実態調査を実施する。

- 3) 少子化の進行、母子保健政策や関連法規の改訂、ICT化の進展など、時代の変化を的確に踏まえつつ、コア・カリキュラム改訂に必要な調査を実施し、その結果に基づき改訂を行う。
- 4) 助産師基礎教育から新人教育への円滑かつシームレスな移行を図るため、関連団体（日看協）との連携のもと、新人助産師研修との連携を持たせた助産師育成プログラムの策定および標準化の推進に取り組む。

ビジョン4：看護師資格を基盤にした修業年限2年の助産師教育を推進する

- 1) 調査結果：助産師教育の教育課程6課程ある。調査から、大学院（2年課程）に移行する必要があると考えている養成校は、①はい 21校（29.2%）②いいえ 21校（29.2%）③どちらでもない 30校（41.7%）と、拮抗していた。「はい」の理由は、1年では修業期間が足りないため、また「いいえ」の理由は、養成機関期間が長いこと、希望する受験生が多くないこと等が挙げられた。「どちらでもない」の理由は、設置主体の方針で2年課程に移行できないからであった。望ましい助産師教育におけるコア・カリキュラムの推進のためには2年の修業期間が必要と考え、2年の助産師教育を推進する。
- 2) 助産師教育は6課程が併存しており、教育課程の構造や学修時間、助産学実習の機会に差が生じている。また、教育の構造や時間のみならず、既に看護師資格を有する者を対象とした助産師教育課程と看護師資格を有しない者を対象とした教育課程では、助産師教育のスタート時点において、学修のレディネスに差が生じている。教育の質の向上を図るため、看護師資格取得後の2年間の助産師教育を推進する。